大学等名：東京薬科大学
テーマ　：テーマⅤ（卒業時における質保証の取組の強化）

事業概要　1. 卒業コンピテンス・コンピテンシー導入によるアウトカム重視教育と評価、2. 質向上を目的とした研修(FD・SD)の実施、3. 成績評価に係る教員評価の導入、4. 卒業論文研究を活用したディプロマ・サプリメント(仮称)の作成により、卒業論文研究の質的評価法とそのフィードバック法を開発し、さらに特色ある卒業論文研究が卒業後の学生のスキル向上や社会貢献にどのように関っているか提示することを、目標とする。

卒業生調査　〇卒業生にヒアリング調査。〇平成29年度は、全数調査〇我が国の薬学・生命科学部卒業生の情報解析の基礎資料ともなる。〇「卒業コンピテンス・コンピテンシー」に反映させる。〇PDCAサイクルへの活用。

社会

外部評価委員会

発信

卒業論文研究を活用したディプロマ・サプリメント(仮称)の作成
〇卒業論文及び研究に、標準化したルーブリックを用いた評価を行う。〇卒業生には、ディプロマ・サプリメント(仮称)を、大学が発行。

反映

発信

評価

DP	建学の精神・理念
社会の要請	学則に定める目的
薬学教育コアカリ(薬学部)	薬剤師基本的な資質(薬学部)

反映

本学における語の定義
〇**卒業コンピテンス**:「学則及びディプロマ・ポリシー等を踏まえ、本学卒業生が身に付けるべき知識、技能、態度を包含する実践力」
〇**卒業コンピテンシー**:「卒業コンピテンスを具体化し、知識の応用や実践力のレベルに応じて科目と結び付けて観察可能な能力」

「卒業コンピテンス・コンピテンシー」導入によるアウトカム重視教育と評価
〇薬学部・生命科学部ごとに新たに設定し、専門分野に配慮した、アウトカムに基づいた教育へ
〇科目ごとに、卒業コンピテンス・コンピテンシーにより単位認定の要件を、段階的に明確化
〇H30年度薬学部、H31年度生命科学部に導入
〇本学卒業生の質保証ともなる
〇キャリア教育・初年次教育との連携

専門分野に配慮した、アウトカムに基づいた教育と評価の実践により、社会的に求められる卒業コンピテンス・コンピテンシーを持つ社会人(薬剤師・技術者・研究開発従事者)育成へ

P

D

成績評価に係る教員評価の導入
〇成績評価・教育の質向上の一層の促進

A

C

質向上を目的とした研修(FD・SD)の実施
〇教育の質向上に関する研修
〇学生FDとの連携による教育の質向上
〇キャリアへの意識を育成する、教職協働のSD開発

卒業生調査・在学生調査
〇卒業時の進路等調査を定期的に実施
〇毎年度の学修行動に係る情報を調査
〇IR組織等で検討し内部評価にも活用

【事業の成果】	27年度（実績値）	28年度（目標値）	29年度（目標値）	31年度（目標値）
学生の授業外学修時間（1週間当たり）	薬12.1時間 生6.3時間	薬13.8時間 生7.5時間	薬15.5時間 生8.5時間	薬19.0時間 生12.0時間
卒業生追跡調査の実施率（調査回答者数／卒業者数）	98%	99%	99%	99%
卒業論文研究のルーブリック評価実施率	0%	5%	30%	100%

・本事業を実施することにより、本学はよりラーニングアウトカムを重視した教育を推進し、本学の三つの方針、特にディプロマ・ポリシーを実質化することができる。
・本事業を実施することにより、学生には勉強しがいのある大学、教職員には働きがいのある大学、社会には必要とされる大学となる。